

黒田24騎小傳(2)



24 騎の構成

黒田家の歴史を研究し、24騎に精通しておられる本山一城氏がまとめられた「黒田如水と25騎」には、「24騎という数字の枠どりに特別の意味はない」と記されている。

黒田家の藩主を含めて25騎と称することもある。戦乱戦国時代に臨機応変の作戦を行う主君と家来が身分を越えて一丸となって戦ってきたからだ。

黒田24騎は、黒田藩祖如水公、初代藩主長政公を除いた、親族一門と重臣24家を次の構成で選んでいる。

まずは、親族一門の中から3家を選び、次に、播磨・姫路時代より官兵エ衛(如水)に従ってきた、「大譜代」71家の中から19家を選び、更に、12万3千石の中津藩主時代を支えた家臣群84家の中から2家を選び出して、合計24家とした。

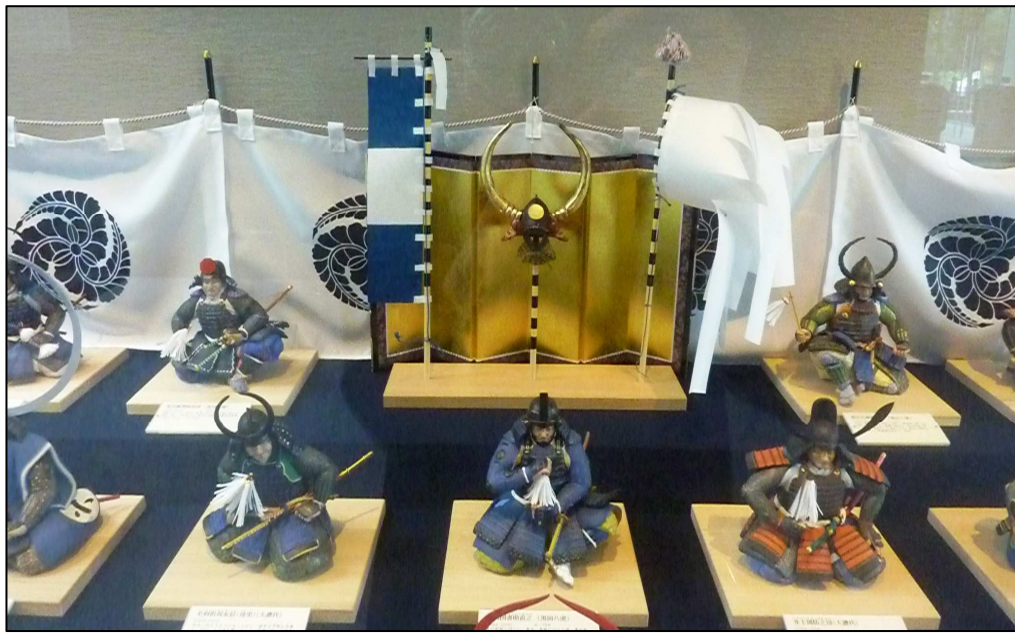
ともに福岡藩構築の重臣として活躍し、天下に名をあげた人々である。

黒田24騎名

一門	・黒田兵庫利高	・黒田修理亮利則	・黒田図書助直之
大譜代	・栗山備後利安 ・母里太兵衛友信 ・後藤又兵衛基次 ・井上周防之房 ・桐山円波丹斎 ・村田出羽吉次 ・三宅若狭家義	・堀平右衛門正儔 ・黒田美作一成 ・野村太郎兵衛祐勝 ・管和泉正利 ・林掃部直利 ・竹森石見次貞	・益田与助政親 ・野口佐助一成 ・久野四兵衛重勝 ・小河伝右門信章 ・吉田壱岐長利 ・衣笠因幡景延
古譜代	・毛屋武蔵武久	・原伊豫種良	



黒田24騎博多人形(ふくおかフィナンシャルグループ1階に展示)



(上記に同じ)



黒田家家紋(藤卷巴)